

栄養士 宮城葵先生の食育講話「正しいおはしの持ち方」

5月10日(水)に学校給食協同調理場の栄養士 宮城葵先生(写真2)を講師に、「お箸の使い方をマスターしよう」と題して、2年生に食育講話を実施しました(写真3・4)。

「お箸の使い方をマスターしよう」のお話では、おはしの働きは、はさむ・切る・つまむ・混ぜる(写真5)の4つがあり、その働きをしっかりと果たすためには、正しいお箸の持ち方をするのが大切であるとのことでした。

正しいお箸の持ち方は(写真6・7・8)、「①えんぴつを持つように1本を持つ。①の下、親指のところにもう1本を入れる。③上手に持てたら、上のはしだけ動かしてみよう。」とお話し、給食で実際に使っているお箸を一人一人に配って、実際に持ち方を練習しました。巨大な指とお箸の模型を使って具体的に教えていただいたので、子ども達も真剣なまなざしで、正しいお箸の持ち方にチャレンジしていました。

正しいお箸の持ち方は、正しいえんぴつの持ち方にもつながります。繰り返し繰り返し練習することで、身に付いていくものです。ぜひ、ご家庭でも、子ども達のお箸の持ち方に目を向けてみてください。

宜野座村の給食は、県内でも「郷土の食材を活かしたおいしい給食」と評判が高いです。毎日の給食の献立を見ても、旬のものを使って工夫されたメニューが多くあります。また、今秋には、新しい共同調理場が、宜野座中学校のすぐ隣に建設されます。ただ今、工事の真っ最中です。完成が楽しみです。

給食は、多くの人たちが携わって、作られています。これからも感謝の気持ちを忘れず、おいしい給食を正しいマナーでいただきましょう。

給食の献立を作成している葵先生、いつもありがとうございます。そして、今日は、子ども達のために正しいお箸の持ち方を分かりやすくお話していただき、本当にありがとうございました。



写真2 栄養士の宮城葵先生



写真3 食育講話の様子



写真4 食育講話を静かに聞く子ども達

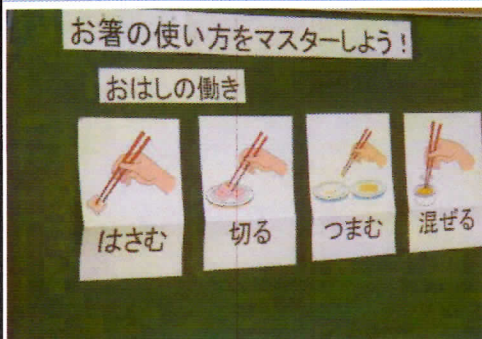


写真5 おはしの働き



写真6・7・8 おはしの正しい持ち方

『アーケージョ遊びの広場』 について

松田保育園隣にある子育て支援センター”すくすく”に併設されている『アーケージョ遊びの広場』を地域の方にも開放しますとのお知らせが、松田保育園からありました。使用するにあたっては、広場の入り口に掲示してある、「アーケージョひろばでのあそびかた・やくそく」(写真11)をご確認ください。



写真9・10 アーケージョ遊びの広場の遊具

アーケージョひろばでのあそびかた・やくそく

- ・おとうさんや おかあさんと いっしょにあそびましょう。
- ・かばんや ひもをもったまま、ゆうぐで あそばないようにしましょう。
- ・たくさんのひとで、おなじはしよにのると きけんなのでやめましょう。
- ・ゆうぐは、ただしいつかいかたをしましょう。
- ・じんこうしばの うえのゆうぐは、はだしてあそびましょう。
- ・すいどうのみずは、しっかりととじましょう。
- ・ひろばにさいている はなやきを ちぎったり おったりしない。
- ・ゴミは もちかえりましょう。
- ・らくがきをしては いけません。
- ・ゆうぐを こわしたばあいは、べんしょうしていただきます。
- ・ほいくじかんいがいい、このひろばでの けがやじこについては、いっさいせきには おえません。

☆やくそくをまもって、きもちよくひろばをつかきましょう☆

写真11 アーケージョひろばでのあそびかた・やくそく